

平成 17 年 7 月 15 日

各 位

中期経営計画進捗状況（連結）

会社名 マルカキカイ株式会社
代表者名 代表取締役社長 釜江 信次
(コード番号 7594 大証2部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 森 康明
電 話 (072) 625 6551

当社は 2003 年 12 月から 3 ヶ年の中期経営計画に取り組んでおります。2 年目の 2005 年 11 月中間期の進捗状況は以下のとおりであります。

初年度の実績が予想を上回ったことと、当社を取り巻く経営環境を鑑みて、2005 年 11 月期（2 年目）及び 2006 年 11 月期（最終年度）の利益計画を 2005 年 1 月に上方修正いたしました。更に 4 月に 2005 年 11 月期の見込みを上方修正し、今般 2006 年 11 月期（最終年度）の計画を上方修正いたしました。

なお、海外市場の売上高が好調に推移していることにより、連結売上高に占める海外売上高の比率は 46%（国内売り海外仕向分を含めると 50%）となり、前年上期比 9% 増加しております。

記

1. 中期基本戦略

アジア取引の拡大

アジア市場を重点市場の一つと捉え、好調なタイ、インドネシアに加え中国の拠点を拡大し取引拡大をはかる。

アメリカ市場における既存商品のシェアアップ、新規商品の投入と日系企業の開拓。建設機械部門において国内販売、輸出、レンタルの連携強化による独自性を発揮した営業の展開。

国内と海外拠点相互の情報の飛躍的な増加。

2. 「事業別・市場別戦略と施策」及び「2 年目の進捗状況」

(1) 産業機械部門

日本市場

主要商品の販売拡大

- ・ 工作機械・鍛圧機械等は拡大をいたしました。

ユーザー数の拡大

- ・ 自動車関連企業などの海外進出企業の新規開拓を進めております。

海外メーカーとの取り組みを強化

- ・ 台湾メーカーの工作機械・鍛圧機械を中心に推進中であります。

子会社ソノルカエンジニアリング(株)の2006年11月期、売上高23億円達成のためのユーザー基盤構築の完全実現をはかる。

- ・ 今年度売上高を15億円と計画しておりましたが、大手自動車関連からの受注により、17億円(前年度12.5億円)を見込んでおります。来期も画期的な新機種での大口受注を見込んでおり、今期以降の足掛かりが出来る見込みです。

首都圏市場を重点的に拡大する。

- ・ 首都圏の売上高は前年上期比9%増となりましたが、近畿地区・中部地区で大口の売上があり、首都圏の比率が前年上期の16%から13%に低下しました。

アメリカ市場

主力商品の販売をセールス、サービス体制の強化により増加させ、売上を3年間で32%伸ばす。

- ・ 工作機械・射出成形機とも計画を大きく上回りました。下期にかけ射出成形機の大口径受注が見込まれます。

新主力商品を育成する。

- ・ 新商品として採り上げたパイプベンダーの売上は、販売体制作りを進めた結果、順調に推移しております。

日系企業の開拓

- ・ 日系自動車関連企業を中心に、新規開拓を進めております。

アジア市場

東南アジアは、タイ・インドネシアのビッグマーケットの営業を、本社から支援体制を強化してユーザーの拡大をはかる。

- ・ 日系企業を中心に、新規ユーザーの拡大がはかられています。

中国の営業強化により、2006年11月期の中国市場売上高25億円を達成する。

- ・ 広州・上海・天津の3拠点による営業展開をはかり、当中間期は約6億円(ユーザーが日本で購入し、中国に輸出した金額を含む)の実績が挙がりました。受注は日系関連企業を中心に積み上がってきており、下期以降の堅調な足掛かりが出来つつあります。

フィリピンでのサービス事業の展開

- ・ 自動車関係の日系ユーザーに対して、サービス事業も加えた機械販売とサー

ビスのトータル営業の展開を図るための体制を構築し、2006年11月期に軌道に乗せてまいります。

(2) 建設機械部門

中古建機輸出の拡大

- ・ 国内市場は中古建設機械の品不足状態でありましたが、当中間期で前年同期比並みの284百万円の実績が挙げられました。

レンタル部門の強化

- ・ 連結子会社となったジャパンレンタル(株)は、引続き収益が好調でありました。主力メーカー・コベルコ製品をメインとし、その他の有力商品をサブとする販売体制を構築する。

- ・ メーカー選定を終え、ユーザーの開拓を進めてまいります。

コベルコ製品を軸に、環境関連商品を引続き取り組んでまいります。

3. 中期経営計画の連結数値目標

(金額単位：百万円)

決算期 項目	2003年 11月期 実績	2004年 11月期 当初計画	2004年 11月期 実績	2005年 11月期 当初計画	2005年 11月期 修正計画	2006年 11月期 当初計画	2006年 11月期 修正計画
売上高	26,145	29,000	31,764	32,000	38,000	36,000	40,000
営業利益	585	810	1,048	1,000	1,500	1,200	1,595
経常利益	590	850	1,100	1,050	1,550	1,250	1,647
当期純利益	354	470	568	560	850	650	940
ROA (%)	2.9		5.2			5.0	

部門別連結数値目標

(金額単位：百万円)

決算期 項目	2003年 11月期 実績	2004年 11月期 当初計画	2004年 11月期 実績	2005年 11月期 当初計画	2005年 11月期 修正計画	2006年 11月期 当初計画	2006年 11月期 修正計画
産業機械売上	21,446	23,970	26,179	26,667	32,267	30,464	33,864
同営業利益	1,256	1,390	1,554	1,605	1,910	1,820	2,046
建設機械売上	4,588	5,000	5,552	5,300	5,700	5,500	6,400
同営業利益	178	220	333	230	455	250	433
その他売上	110	30	33	33	33	36	36

(注)・「当初計画」数字は、2004年1月19日公表の中期経営計画策定時の数字です。

- ・ 部門別営業利益と決算上の営業利益との差異は、主に親会社管理部門に係る費用分。

以上